

# 第2回放課後学習ラボ

## モータースポーツを通じて発達障害を持つ方との 交流を図るイベント

### カート体験走行

主催 特定非営利活動法人 Winds Formula Association

場所 木更津サーキット

日時 2018年10月27日 土曜日 8:30~12:00

本年も草の根事業育成財団様の助成金(草の根助成金)の交付を受け、昨年続き2回目の放課後学習ラボを無事に開催いたしました。

あいにくの雨模様の中での開催となりましたが、シミュレータを使用しての走行とカートでの実車走行と両方でルールと運転技術の必要さを学びました。

皆我先にと手を挙げて体験に前向きで楽しく過ごすことが出来、モータースポーツを通じて有意義な放課後学習ラボとして終了いたしました。

#### 協力

公益財団法人草の根事業育成財団  
特定非営利活動法人峠工房  
特定非営利活動法人第8神経を考  
える会  
株式会社旭ブレイン  
川越耳科学クリニック



## イベント内容

走行はフリー走行。いわゆるレース形式ではなく自由に走行しますがカート走行について、木更津サーキットのスタッフ様より説明。ルールを守ればモータースポーツは決して危ないものではありません。



説明が終わり、さあ乗車という時に強い雨が降り出しサーキットクローズとなりました。  
(残念)



雨が止むまではシミュレータで走行。参加者の中に「クラッチがきれるのか」というまさかの質問。しかも大学生、そして見事にクラッチをミートして運転しておりました。

(流石です)



雨が止み、待ちに待った走行開始です。小学生はジュニアカートに中学生以上は(普通の?)カートに乗りました。路面はまだぬれているので、もちろん気を付けて楽しみました。



子供以上に楽しんでいらしたのは保護者の方々。タイトなコーナーも難なくクリアしておりました。



放課後学習を終了した方に終了証を渡し、走行後の目眩、乗り物酔いが起こっていなかったかのアンケートに回答して頂きました。目眩のリハビリにもカートが使えないかを川越耳科学クリニックの坂田院長が検査をしております。参加者様の了承を得て川越耳科学クリニックへアンケート用紙を渡します



## 総括

都内で発達障害を持つ方は東京都で 8000 人とされています。

見た目で見えない“発達障害”、そのため発達障害を持つ方と他者との関わりを持つ機会を多く持ち、互いに共感を高めることが必要だと考えられます。そこで本年も昨年に続き第 2 回放課後学習ラボを開催しました。

参加者は昨年より増え、あいにくの雨となりましたがシミュレータと実車の両方を体験することが出来ました。

モータースポーツを通じて、シミュレータでは前方はもちろん左右にも気をつけないと事故が起きるといったことなどの運転技術を学び、実車のカートでは走行ルールの必要さを学びました。子供たちは我先にと手を挙げて体験を楽しみ、放課後学習ラボを終了しました。

今回は、モータースポーツを通じて悪天候時には走行をしないという危険を回避する必要性、そしてカート走行ができないためのシミュレータへの切り替えをするという対処の必要さを学びました。

参加者の方の前向きな姿と、出来るはずのことが出来なくなった時にも騒がず他の参加者の体験時も見守ることが出来る柔軟さを知る事ができました。

自分勝手な行動を起こしがちな大人も見習うべきと思いました。そしてもっと子供たち、大人に、興味のある事がみつけられるような機会を作ってあげられると嬉しいです。